

(2014 年度) 第 3 回応用地形判読士資格検定試験 二次試験問題

[午後の部]

実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施日時は、2014 年 11 月 29 日（土）の 10 時 0 分から 15 時 0 分までとする。
 - ・午前の部：10 時 0 分から 12 時 0 分までの 2 時間。
 - ・午後の部：13 時 0 分から 15 時 0 分までの 2 時間。
- (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
- (3) 解答は、図示を求める問題に対しては [地形図] (地形判読記号などを記入する [記号凡例用紙] を含む) に、記述を求める問題に対しては [マス目入り答案用紙] に、それぞれ記入すること。

地形図（記号凡例用紙を含む）およびマス目入り答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。
- (4) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加え空中写真判読を行うこと。

これらの結果は、その地形図に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、地形判読記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
- (5) 地形図に記入する地形判読記号、色、模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある [記号凡例用紙] に記入すること。
- (6) 試験の開始にあたり、印刷の不鮮明な点がないことを確認すること。
- (7) 試験開始後は、参考書籍のほか、携帯電話など電子機器類の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (8) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (9) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。

ただし、①地形図（記号凡例用紙を含む）、②マス目入り答案用紙、③空中写真は、机の上に残すこと。

◇ 地形図と記号凡例用紙および答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。

《問 題》

1. 地形図に実線で示した範囲について、地形図読図と空中写真判読によって「活断層」と「地すべり地形」を抽出し、その結果を地形図上に図示しなさい。
地すべり地形については、滑落崖，地すべり移動体の輪郭，移動方向，移動体内に認められる変形構造等を区分して作図すること。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の〔記号凡例用紙〕に記入しなさい。

2. 1. で行った地形判読により、次の①～⑦を推定し、その結果と根拠をマス目入り答案用紙に合計 800 字を超えないように記述しなさい。ただし、地形判読で推定できなかった項目についても、その根拠を記述すること。

必要に応じ、地形図中の参照する地点・地域に、記号・番号などを付してもよい。

- ① 活断層とする根拠.
- ② 変位方向.
- ③ 一回の変位量.
- ④ 最新の活動時期.
- ⑤ 活断層と地すべりの関係.
- ⑥ 断層の走向と傾斜.
- ⑦ 断層により形成された破砕帯の幅や性状など.

<参考>

地形図 国土地理院 25,000 分の 1 地形図「千垣」(平成 10 年 07 月 01 日発行)
空中写真 整理番号：MCB-67-09Y／コース番号：C12A／写真番号：4 番，5 番

